

2026年6月11日

## グリーンボンドを含む公募社債の発行条件決定について

この度、当社は、新たに発行するグリーンボンドを含む公募社債の条件を、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。

このうちグリーンボンドによる調達資金は、当社グループが「JR貨物グループ長期ビジョン2030」に掲げる「グリーン社会の実現」や「物流生産性の向上」の取組みの中で、当社グリーンボンド・フレームワークに則り、環境改善効果の高いプロジェクトに充当されます。

当社グループは、将来につながる成長・戦略投資を積極的に推進し、貨物鉄道輸送が持つ環境特性と労働生産性に優れた輸送モードとしての特性を最大限発揮することで、2050年カーボンニュートラルや持続可能な社会の実現に貢献します。

### 1. 発行条件決定日

2026年6月11日

### 2. 発行概要

社債名称	日本貨物鉄道株式会社第9回社債 (一般担保付)	日本貨物鉄道株式会社第10回社債 (一般担保付) (グリーンボンド)
発行年限	10年	20年
発行総額	70億円	50億円
利率	年 3.005%	年 3.850%
払込期日	2026年6月17日	2026年6月17日
償還期限	2036年6月17日	2046年6月15日
資金使途	設備資金ならびに借入金返済資金	貨物駅等改良工事、鉄道設備の老朽取替、運行系システムの更新にかかる設備資金及びリファイナンス資金
第三者評価機関	-	株式会社日本格付研究所 (JCR)
主幹事証券会社	野村証券株式会社 (事務主幹事)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社	
社債格付	株式会社格付投資情報センター (R&I) 株式会社日本格付研究所 (JCR)	AA- AA

### 3. グリーンボンドの資金使途について

本グリーンボンドにて調達した資金は、主に以下の施策及びリファイナンス資金に充當いたします。

#### ■貨物駅等改良工事

全国の貨物駅・機関区等で改良工事を行います。

このうち新南陽駅（山口県）では、コンテナホーム拡張、代行トラック駐車場整備等により折り返し列車・代行トラックの受入能力を拡大し、災害時のBCP対策を強化します。



新南陽駅改良工事

#### ■鉄道設備の老朽取替

当社は、老朽化した線路設備や関連構造物について、更新・延命化工事を計画的に実施しています。これにより、線路設備の安全性と保安度を高めるとともに、将来的な保守・メンテナンスコストの低減を図ります。

本工事では、土木・電気系設備の更新、分岐器や電車線設備の改良などを行い、耐久性に優れた資材への更新や設備の合理化を進めます。これらの取り組みにより、安定した列車運行を支え、環境負荷の低い鉄道貨物輸送を持続的に提供していきます。



鉄まくらぎ

#### ■運行系システムの更新

運転支援システム「PRANETS」の更新を行います。

運転士に徐行区間の予告や制限速度注意喚起等を行う「運転支援機能」と、GNSSにより測位される列車の位置情報等を収集し、鉄道コンテナ輸送の総合管理システム「IT-FRENS」等に位置情報、遅れ時分等の提供を行う「列車位置情報送信機能」を持つシステムです。

現行機能に加え、列車遅延時、迂回運転時の運転支援・位置情報送信機能の追加を行い、安全性の向上を図ります。



PRANETS 端末

(参考)

・グリーンボンドについて

当社ホームページの「グリーンボンド」ページも併せてご覧下さい。

[https://www.jrfreight.co.jp/ir\\_sustainability/greenbond](https://www.jrfreight.co.jp/ir_sustainability/greenbond)